

たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

たがさぽのYouTubeチャンネルをぜひご覧ください!

たがさぽでは、ホームページ、ブログ、Twitter、YouTubeにて情報発信を行っています。この度YouTubeにて、「施設紹介動画」をアップロードしました。たがさぽのマスコットキャラクターたがさぽちゃんが、施設の中をご紹介します! ①、②両方見ればたがさぽマスターになれるかも?
「団体紹介動画」を含めた動画を、たがさぽ1階ロビーにて上映中です。たがさぽに寄った際、ふらりと動画を眺めてみてくださいね。



YouTubeはこちら～



You Tube たがさぽチャンネル



【動画ラインナップ】

- ・個性を織って楽しむ場「さをりひろば余暇よか」
- ・ちがいがつなぐ友達の輪「ともだち・カワン・コミュニティ」
- ・現代にも通じる民話の教訓「多賀城民話の会」

ヒント from たがさぽPress

たがさぽのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します!

01

2020年11月12日(木) 掲載

わが家に保護猫がやってくる!?
～譲渡会編～

02

2021年2月18日(木) 掲載

学生が、学生のために。
安心して学べるまちづくりを

03

2021年4月20日(火) 掲載

【レポート】
化学物質過敏症を考える
TSR会議2020⑥



“たがさぽPress”とは?

たがさぽスタッフによるブログ。
興味がわいたら「たがさぽPress」へ!

<https://blog.canpan.info/tagasapo/>



“tag”のアンケートのお願い



今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします!
また、以下のような情報もお待ちしております!
○自分たちの団体を取材してほしい
○ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
○こんな話題を取り上げてほしい



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、
みんながタッグを組んで地域をつくる、
多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



@tagasapo

たがさぽのツイッターへの
フォローをお願いします!



<https://www.tagasapo.org/>

たがさぽのホームページは
こちらへアクセス!



発行:多賀城市市民活動サポートセンター

〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目25-3

(多賀城市文化センター北隣・上下水道部向かい)

電話:022-368-7745 / FAX:022-309-3706

編集:NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター



ヒト コトモノ



をお届けます

たがさぽちゃん



2021 autumn
vol.95
take free

「多賀城発で多賀城着。」

「tag(たっぐ)」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、
社会や地域のために何か活動したいという方を応援するフリーペーパーです。

受け継がれるエステバンの想い



コロナの影響で1年ぶりとなった
鶴ヶ谷児童館での派遣活動。初めて
会った子どもたちともすぐに打ち解けて
います。活動を通して「人見知りが克服
できた」というメンバーも。



▲現役メンバーの活動を見守る北野さん(左)。今後も「将来エステバンを支えたい」と思う人が出てくるかもしれません。

「学校行事で活躍している姿を見て、あこがれていました」
「小学校で一緒に遊んでもらったのがうれしくて、中学生になっ
たら入ろうと決めていました」

エステバンのみなさんに入会したきっかけを聞くと、こんな答えが
返ってきました。

現在、指導を担当している北野佑樹さんも6年間在籍したOB。
後輩たちを支える立場を志して市の職員になり、今年度より現役
メンバーの育成に尽力しています。

北野さんが現役メンバーに望むのは「楽しんで活動すること」。
「自分が楽しむことで、人を楽しませることができる。結果と
して、地域貢献につながれば」。その想いは、技術や伝統ととも
にこれからも受け継がれ、子どもたちのあこがれとして、また、
次世代のまちづくりの担い手として、エステバンは活躍し続け
ることでしょ。

「エステバン」とは...?

地域のイベント、子ども会行事、児童館などで、子どもたちにゲームや
遊びを通して集団生活の中でのルールやマナーを教えている、多賀城
の子どもたちのお兄さん・お姉さんの存在のジュニアリーダー。



エステバンメンバー募集中

ギリシャ語で「太陽の子」を意味するエステバン。太陽のように
明るく元気に活動できる多賀城市内の中学1年生から高校3年生
までのメンバーを募集中。学校では学べないたくさんのことが
経験できます。

連絡先

多賀城市中央公民館
022-368-0133

一代限りの命を見守り、共存できる社会づくりへ

野良猫の繁殖を防ぎ、地域での共生に向けてTNR活動をしている「わんにゃん輪っか」にお話をうかがいました。



「放っておけない」が活動のはじまり

おなかをすかせてかわいそう、また、かわいいからと野良猫へエサを与えることが問題視されています。やさしさでエサを与えたつもりが、そのエサを目当てに他の猫が来て子猫を産みさらに増え、ふん尿被害や花壇を荒らされるなどさまざまな問題が起きています。そこで動物保護団体等が野良猫の増加による殺処分を防ぐために捕獲し、不妊手術を行い元の場所に戻す“TNR活動”を行っています。わんにゃん輪っかが活動の中心としているのは、このTNRと保護猫の里親探しです。

東日本大震災後にボランティアに入った南三陸町で、どんどん増えていく野良猫が飼い主がいらないために病気やケガのケアをされない状況を見て、放っておけないと保護活動をはじめました。わんにゃん輪っかには、野良猫が増えて困っている人や野良猫にエサを与えているエサやりさんから、猫の保護依頼や相談があります。まずは依頼があった場所のエサやりさんに、ふん尿の掃除など飼い主と同じように責任をもってお世話をしよう話します。そして、不妊手術を行い地域で見守ってもらえる猫にすることを提案しています。



▲下馬で行われた譲渡会の様子。

飼い主がいらない猫の不妊去勢手術の支援

[さくらねこ無料不妊手術チケット]

全国の協力病院で使用できる無料不妊手術チケットを発行しています。

公益財団法人どうぶつ基金 (TNRどうぶつ基金マイページ)



[飼い主のいない猫の不妊去勢事業]

宮城県内(仙台市を除く)に生息する飼い主のいない猫の不妊手術に際して、手術費用の一部を助成する制度です。

(実施頭数制限あり)

公益社団法人 宮城県獣医師会



猫だけではなく地域のためのTNR活動

TNRは猫好きな人が猫のために行っていると思われ、関心のない人にはなかなか理解してもらえません。

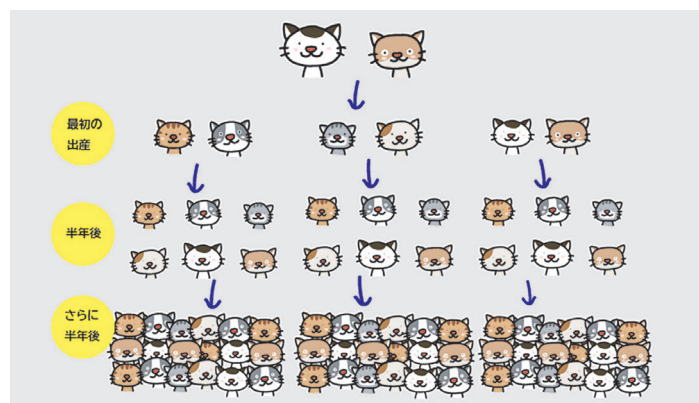
活動により、不妊手術をした猫が元の場所に戻ることでテリトリーが守られ、他の地域から入ってくる野良猫による繁殖を防ぐことができます。各地域でこの活動が行われることで、自然に野良猫が減り、猫による問題を減らす効果があり、環境保全にもつながっています。

塩釜保健所によると、宮城県(仙台市を除く)における飼い主のいない猫の不妊去勢助成事業の利用数は2018年に641件、2020年には795件と増加するなど、TNR活動や助成事業が少しずつ周知されてきています。

わんにゃん輪っかは「責任を持ってエサやりをしてほしい。また、不妊手術をした猫は一代限りの命です。地域でその命を見守ってほしい」と話します。そして人と猫が共に暮らしやすいまちになるために、TNRへの理解とさまざまな支援についてもっと知られることを願って活動しています。

TNRとは...

Trap・Neuter・Return(トラップ・ニューター・リターン)を略した言葉。捕獲器などで野良猫を捕獲(Trap)し、不妊・去勢手術(Neuter)を行い、元の場所に戻す(Return)ことです。この活動によって不妊手術をした猫は、印として耳がさくらの花びらのようにカットされています。



▲1回の出産で生まれる子猫の数は約5〜7匹。その子猫は半年後から出産できます。1年後には50〜70匹になると言われています。

わんにゃん輪っか

instagram : @wannyanwakka



市民活動 はじまりのはじまり

自らも化学物質過敏症に苦しむ庄司さん夫妻が立ち上げた「コトリじかん。」ひとりで苦しまないで。誰も否定せず、非難もされず、安心して話せる場がここにあります。



化学物質に困っている人たちの羽休めの場をめざして

庄司良博さん・美穂さん夫妻は2013年7月、多賀城駅近くに小さなカフェ「コトリコーヒー」をオープンしました。以来、地域の人に親しまれてきましたが、2018年夏から特定の香りに対して頭痛やめまい、動悸などの症状が出始め、2019年6月に専門医より「化学物質過敏症」の診断を受けました。お客様に香料自粛のお願いをしながら営業を続けましたが接客は難しいと感じ、その年の12月に閉店しました。

化学物質過敏症のことをSNSで発信したところ、全国の同じような症状を持つ方から電話や手紙をいただき、ひとりで苦しんでいる方がたくさんいることを知ったそうです。「自分たちに何かできることはないだろうか?」と考える中、病気で困っている人たちが出会い、つながる場を作ろうと思い立ち「コトリじかん。」を始めました。

病気について語り合うような重苦しい場ではなく、困っている中でも役立つ生活の知恵や工夫のアイデアがつぎつぎに出るなど、和気あいあいとした時間になっています。「ここに来ると勇気が出て、前向きな気持ちになります」という参加者もあり、同じ病気で苦しむ人たちの心が休まる場になっています。

「居心地のいい場所を作るためには、自分らしく自然体でいること」そんな想いを胸に、二人は今日も扉を開けて待っています。

香害と化学物質過敏症を語り合う時間「コトリじかん。」

日時 毎月第1月曜 / 10:00 ~ 12:30 (予約不要・出入り自由)
参加費 350円(飲み物付)
会場 多賀城市市民活動サポートセンター
主催・お問合せ先 080-3195-2048 (コトリじかん。実行委員会)

お役立ちアラカルト

ボランティアはじめませんか?

「ボランティアを始めたいけど、どんな活動があるのか知りたい…」
そういう時に役立つサイトをご紹介します!



みやぎNPO情報ネット

団体検索、ボランティア募集情報のほか、県内のNPO支援施設の情報も掲載しています。



みやぎNPOナビ

宮城県内のNPOや市民活動団体の情報を公開しています。



社の伝言板ゆるる

市民活動やボランティア活動に関するさまざまな情報発信をしています。



activo

国内最大級のNPO・社会的企業のボランティア・職員／アルバイトの情報サイトです。



にこボラ(仙台市社会福祉協議会)

仙台市ボランティアセンターが発行しているボランティア情報誌です。最新号をホームページから見るすることができます。



◀「コトリじかん。」主催者の庄司さん。店内の香りを気にすることなくランチを楽しめるお店の情報など、香りで困っている人に役立つ情報が集まりました。



▲この日のテーマは「おすすめの生活用品、教えてください」。
洗濯には重曹を使う、クエン酸が柔軟剤の代わりになるというアイデアも。



▲化学物質過敏症について知ることができる資料は、症状のない人にも知ってもらいたい情報でもあります。

庄司さんが経営するコトリコーヒーのページです。お店の情報はもちろん、「コトリじかん。」のこと、化学物質過敏症のことをたくさんの人に知ってもらえたらうれしいと庄司さんは話しています。



Facebook